

市民公園の自然生態系を活用した、 体験型環境教育モデルの構築(ESD化)

〒076-0017
北海道富良野市下御料
電話:0167-22-4019
E-mail:shizenjuku@furano.ne.jp
http://furano-shizenjuku.com/



つづける助成

1年目

知識の提供・普及啓発



公園の自然を活用したプログラムスタート!

プログラム参加者数 69人

アンケート回収数 69人

今年度計画の達成度 100%

活動の全体目標に対する達成度 65%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

活動拠点から離れた場所でのプログラム開催であったため、現地のスタッフとのやり取り(広報や準備物等)に苦労した。

■ 工夫した点

北海道教育大学や旭山動物園など、近隣の教育機関にプログラム内容を相談して、内容を深めていった。



課題

全国の都市公園の数は105,744箇所にも及ぶが、効果的な環境教育の場として活用されていない。

目標

持続可能な社会に向け、環境保全の重要性に対する住民認識が50%以上増加する。また、公園の自然を活用した環境教育を助成金に頼らず、継続的に行う仕組みが確立する。

活動内容と成果

公園内に設置した460mの距離を歩くことで46億年の地球の歴史を学び、生き物や自然がどのように地球上に現れ、循環型環境を作り出し、最後の最後に登場した人間が起きている環境問題がどのように影響し、今後どうなるの

かを、体感的に学ぶことができるプログラムを行う。

また、公園特有の自然生態系(木、花、鳥、虫、動物、川、池、土、など)の観察や五感を使って自然を感じるゲームを行うことにより学習効果を高めた。

今年度は全国3か所で開催し、総計69名の参加者が体験した。



アンケート回収する子どもたち

今後の展望

次年度は開催箇所を5か所に増やしたい。また、自治体や関係組織とも協議を深め、助成金に頼らなくてもプログラムを実施できる体制づくりに着手したい。